

# 契約保証金は 取らない方向にすべきでは

## 現状で理解を願う



木村 洋子 議員  
(日本共産党)

**問** 町では、復興事業で買収した土地を貸し付けるにあたり、契約保証金を取るとのことだが、利用者にとって大きな負担となっている。これから事業を展開し、頑張ろうとしている被災した事業者もいる。町としてバックアップする意味においても、契約保証金は取らない方向で考えるべきではないか。被災が大きかった陸前高田市や大槌町では、契約保証金を取らないということである。被災が大きかった町においても同様の扱いとすべきだ。

**佐藤町長** 復興事業で買取りを行った移転元地は、住宅の用途以外の土地利用として公募貸付を行っている。契約保証

金は、契約の適切な履行を保証するため、貸し出す土地の評価額の10割を一時的に納めていただき、契約満了又は契約解除となったときに返金するものである。通常は、

契約前の一括払いが原則だが、最大10回まで分割払いができる。賃料も50年の定期借地のうち当初20年間を半額とし、借主の初期費用の負担軽減に配慮している。

### 災害公営住宅へ 介護人員配置すべきでは

#### 施設内の設置は困難

**問** 災害公営住宅には、独り暮らしの高齢者が多く暮らしている。現在は一人で生活できていても、今後、自助・互助の努力だけでは解決できない状況が出てくると考える。現在でも、特養などには待機者も多く介護施設に入りたくても入れない状況は続くと思われる。災害公営住宅に入居している高齢者に長く住んでもらうためにも、中央団地などの施設内に介護の必要時にサービスが提供できるよう介護を担う人員を配置してはどうか。高齢化社会を見据えた方策が今後必要である。

り、被災が大きく高齢化率の高い当町において住民に望まれる方策なのである。

**町長** 訪問介護サービスの提供は、介護サービスの需給状況及び事業者の運営に対する影響も考慮する必要がある、施設内に介護を担う人員を配置するのは困難である。

#### その他の質問

- ◆ 新型コロナウイルス感染症は
- ◆ 漁業者への支援策は
- ◆ 町立わかば幼稚園の運営は

### 関口川中流部の しゅんせつ必要では

#### 県に要望している

**問** 平安荘や社協など福祉関連の施設が集まっている地域を流れる関口川中流部は土石等で河床が相当上がっている。集中豪雨等があれば、浸水被害が出かねない。早期のしゅんせつが必要では。

**佐藤建設課長** 県へ早期の対応を要望している。県では3年度に実施できるか検討している。



しゅんせつが必要な関口川中流部